

ハーブと野菜の共生効果 相対表

作成日 2017/10/11

野菜 ハーブ		ナス科				アブラナ科				イネ科	ユリ科	バラ科	セリ科	ウリ科					アカザ科	共生効果
		ト マ ト	ナ ス	ジャ ガイ モ	ピー マン	カリ フラ ワー	キャ ベツ	ブロッ コリー	カ ブ	トウ モロ コシ	アス パラ ガス	タ マ ネ ギ	イチ ゴ	ニン ジン	カ ボ チ ャ	メ ロ ン	スイ カ	キュ ウ リ	ズ ッキ ー ニ	
ユリ科	チャイブ	○	○	○										○	○	○	○			病気の発生や媒体となるアブラムシなどの害虫発生を防ぎます。
ノウゼンハレン科	ナスタチウム	○	○		○		○											○		アブラムシの寄り付きを避け、てんとう虫などの益虫を呼び寄せる働きがあります。
ムラサキ科	ポリジ											○								花はミツバチを呼び寄せ、茎や葉はアブラムシを集めテントウムシの幼虫・成虫の住処となり、相互の受粉を助けながら生育が向上します。
シソ科	オレガノ																	○		風味が良くなります。
	セージ	○					○					○	○							モンシロチョウの産卵を防ぐと共に、作物の風味を向上させます。
	タイム	○					○												○	生殖に欠かせない虫媒(蜂)を呼び寄せ受粉を助けると共に、モンシロチョウを防除します。
	バジル	○						○		○										アブラムシ、アオムシなどの発生を減らし、蚊やハエを避けて成育を助けます。
	ヒソップ						○													モンシロチョウを避ける働きがあるので、産卵による青虫の発生が減少します。
	ミント							○												アオムシやアブラムシなどの害虫が減り、風味が向上します。
	ローズマリー						○							○						根に発生する土着菌によって作物の生育が促進されます。
セリ科	バセリ												○							作物の生育を促進して、風味を向上させます。
キク科	マリーゴールド				○	○	○						○					○		花は、作物の害虫が寄り付くのを避け、根は土中に潜むセンチュウを退治し、土に活力を与えます。
	カモミール						○		○			○								病害虫を防除する働きがあります。
バラ科	ワイルドストロベリー						○												○	モンシロチョウ、ヨトウムシの食害を防ぐ働きがあります。
フウロウソウ科	ゼラニウム						○		○	○										マメコガネが寄り付けば葉を食べて死滅し、ヨコバエなどが寄り付きません。
補足		・ にんにくは、作物全般の土中に発生した病原菌を殺菌し、ほとんどの害虫を寄せ付けない働きがありますが、マメ科の作物やバラ科のイチゴに対しては、効果は期待できないようです。 ・ 虫媒植物は、作物の受粉を助ける昆虫類を寄せ付ける植物の事ですが、表に記載されている品種以外にモナルダ（別名：ベルガモット）は、別名がピーバームと呼ばれている程にミツバチを寄せ付ける効果があります。 ・ ステビアを混植えると作物の糖度が向上します。																		